

IPCK用ネットワークリモコン

IPCK-70-01

IPCK REMOTE CONTROLLER

取扱説明書

このたびは、ビデオトロン製品をお買い上げいただきありがとうございました。
安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

この製品を安全にご使用いただくために



警告

誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1) 電源プラグ、コードは

- ・ 定格で定められた電源以外は使用しないでください。
- ・ 差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。
- ・ 濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。
- ・ 抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。
- ・ 電源コードは巻かずに、伸ばして使用してください。
- ・ 電源コードの上に重い物を載せないでください。
- ・ 機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にし、電源プラグを抜いてから行ってください。

2) 本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

- ・ すぐに電源スイッチを切ってください。電源スイッチのない機械の場合は、電源プラグを抜くなどして電源の供給を停止してください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザー等による警報がある場合にもすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。
- ・ 空調設備を確認してください。
- ・ しばらくの間機械に触れないでください。冷却ファンの停止などにより異常発熱している場合があります。
- ・ 機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり異常発熱の原因になります。
- ・ 消火器の設置をお勧めします。緊急の場合に取り扱えるようにしてください。

3) 修理等は、弊社サービスにお任せください

- ・ 感電・故障・発火・異常発熱などの原因になりますので、弊社サービスマン以外は分解・修理などを行わないでください。
- ・ 故障の場合は、弊社 サポートセンターへご連絡ください。

4) その他

- ・ 長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。
- ・ 質量のある機械は一人で持たず、複数人でしっかりと持ってください。転倒や機械の落下によりけがの原因になります。
- ・ 冷却ファンが回っている時はファンに触れないでください。ファン交換などは必ず電源を切り、停止していることを確かめてから行ってください。
- ・ 車載して使用する場合は、より確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。
- ・ ラックマウントおよびラックの固定はしっかりと行ってください。地震などの災害時に危険です。
- ・ 機械内部に異物が入らないようにしてください。感電・故障・発火の原因になります。



注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1) 機械の持ち運びに注意してください

- ・落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。
また、足元に落としたりしますとけがの原因になります。

2) 外部記憶メディア対応の製品では

- ・規格に合わないメディアの使用はドライブ・コネクタの故障の原因になります。
マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。
- ・強い磁場がかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。
- ・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。
- ・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

● 定期的なお手入れをおすすめします

- ・ほこりや異物等の浸入により接触不良や部品の故障が発生します。
- ・お手入れの際は必ず電源を切り、電源プラグを抜いてから行ってください。
また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。
安心してご使用いただくために定期的な(5年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。
期間、費用等につきましては弊社 サポートセンターまでお問い合わせください。

※上記現象以外でも故障かなと思われた場合やご不明な点がありましたら、弊社 サポートセンターまでご連絡ください。

保証規定

① 本製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間とさせていただきます。

なお、保証期間内であっても次の項目に該当する場合は有償修理となります。

- (1) ご利用者様での、輸送、移動、落下時に生じた製品破損、損傷、不具合。
- (2) 適切でない取り扱いにより生じた製品破損、損傷、不具合。
- (3) 火災、天災、設備異常、供給電圧の異常、不適切な信号入力などにより生じた破損、損傷、不具合。
- (4) 当社製品以外の機器が起因して当社製品に生じた破損、損傷、不具合。
- (5) 当社以外で修理、調整、改造が行われている場合、またその結果生じた破損、損傷、不具合。

② 保証は日本国内においてのみ有効です。【This Warranty is valid only in Japan.】

③ 修理責任免責事項について

当社の製品におきまして、有償無償期間に関わらず出来る限りご依頼に沿える修理対応を旨としておりますが、以下の項目に該当する場合はやむをえず修理対応をお断りさせていただく場合がございます。

- (1) 生産終了より7年以上経過した製品、及び製造から10年以上経過し、機器の信頼性が著しく低下した製品。
- (2) 交換の必要な保守部品が製造中止により入手不可能となり在庫もない場合。
- (3) 修理費の総額が製品価格を上回る場合。
- (4) 落雷、火災、水害、冠水、天災などによる破損、損傷で、修理後の恒久的な信頼性を保証出来ない場合。

④ アプリケーションソフトについて

- (1) 製品に付属しているアプリケーションは、上記規定に準じます。
- (2) アプリケーション単体で販売している場合は、販売終了より3年経過した時点で、サポートを終了いたします。

※紙の保証書は廃止し、製品のシリアル番号で保証期間内外の判断をさせていただいております。

何卒、ご理解の程よろしくお願いいたします。

..... 目 次

この製品を安全にご使用いただくために	I
保証規定	III
1. 概 説	1
《特 長》	1
2. 機能チェック	2
1. 構 成	2
2. ネットワーク環境について	2
3. 基本動作チェック	3
3. 各部の名称と働き	4
1. 外観	4
4. 操作方法	6
1. 初期設定(ネットワーク)	6
2. 初期設定(スーパ制御)	8
3. Web Serverの使い方	8
4. スーパ制御	11
5. エラー表示	11
6. メニューツリー	12
5. 工場出荷時設定	13
6. トラブルシューティング	14
7. 仕 様	15
1. 構 成	15
2. 機 能	15
3. 定 格	15
4. 性 能	15
8. 外観図	16

1. 概 説

IPCK-70-01はIPCK-70H用のネットワークリモコンです。IPCK-70HのTAKE制御、CUT/FADEの切り替え、およびFADEタイムの調整ができます。リモコン側面にマグネットを搭載しており、複数のリモコンを連結して使用することができます。IPアドレス等の設定は、リモコン単体でも可能ですが、Webサーバーを使用すると、設定の変更、保存、復元が簡単にできます。本機はPoE給電で動作するため電源配線の必要が無く、卓上の配線をシンプルにできます。

《特 長》

- ・PoE 給電に対応した TAKE リモコン
- ・接続先、自身の IP アドレス等はリモコン内のフラッシュメモリに保持
- ・Web サーバー機能を内蔵しており、リモコンの設定/保存/復元が可能
- ・CUT/FADE の切り替え、FADE タイムの変更が可能
- ・IPCK-70H の ASSIGN TAKE に対応。2 台のリモコンを連結して NET、LOCAL に応じた TAKE 操作が可能
- ・1 台の IPCK-70H に対し、最大で 6 台のリモコンを接続可能
- ・IPCK-70H 本体で設定した、任意のスーパー名称、ASSIGN 名称をリモコンのディスプレイに表示
- ・IPCK-70H の現用/予備構成にも対応しており、一台のリモコンで 2 台の IPCK-70H の TAKE 制御が可能

2. 機能チェック

1. 構成

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	IPCK 用ネットワークリモコン	IPCK-70-01	1	
2	取扱説明書		1	本書

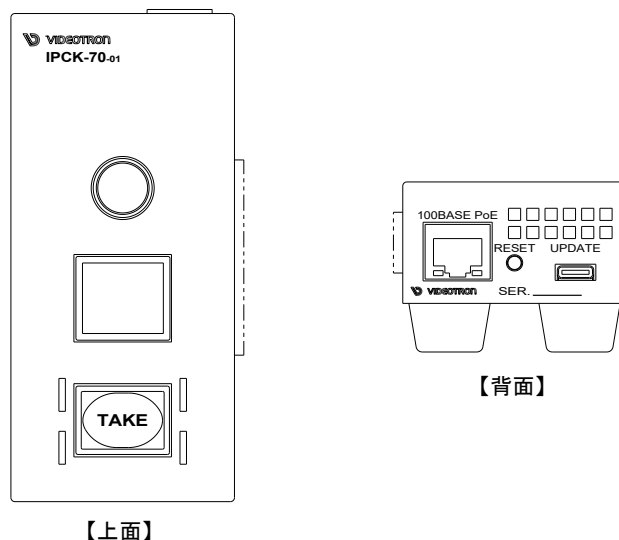


図 2.1.1 正面・背面図

2. ネットワーク環境について

本製品はIEEE802.3afに準拠したPoE給電スイッチングハブに接続してご使用いただく仕様となっております。IPCK-70Hとの接続方法については、主に2通りの方法があります。

【IPCK-70Hをインバウンド環境で制御】

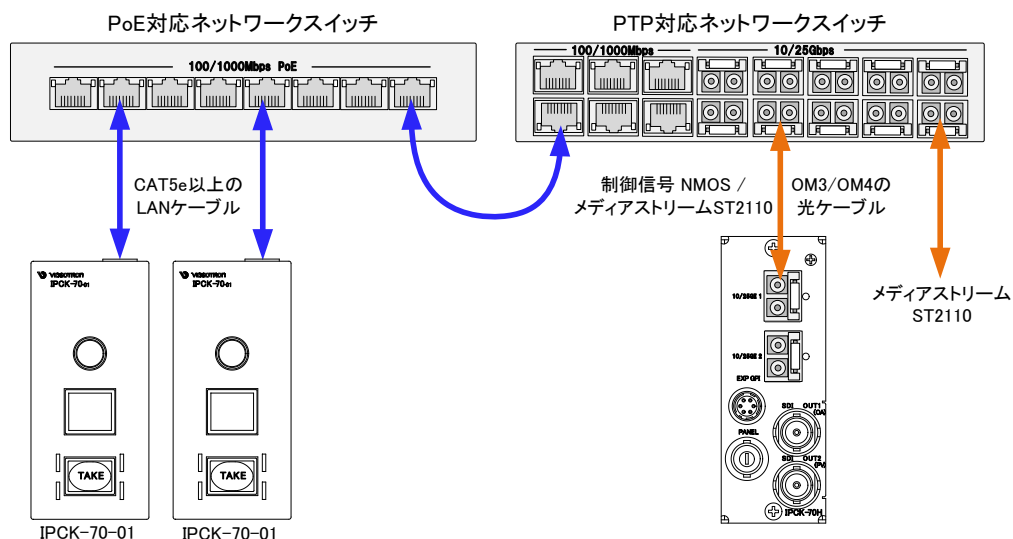


図2.2.1 インバウンド環境接続例

※IPCK-70HはVLANタグに対応しており、上記接続方法においてもIPCK-70Hの制御部分を制御系のネットワークに分離する使い方も可能です。

【IPCK-70Hをアウトバウンド環境で制御】 ※アウトバウンドオプション(IPCK-70-02)に対応したIPCK-70Hが必要です。

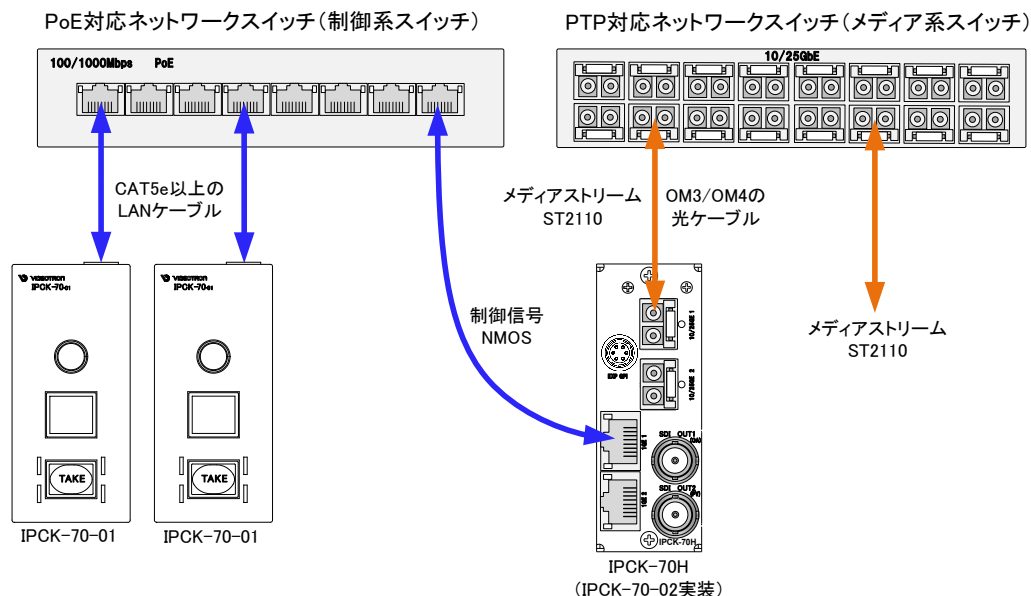


図2.2.2 アウトバウンド環境接続例

3. 基本動作チェック

- (1) IPCK-70Hが動作している環境下で以下の手順に従って動作チェックを行います。
- (2) IPCK-70-01をPoE給電スイッチングハブに接続します。
- (3) IPCK-70-01が通電すると、ディスプレイに“COM ERR 1”と表示されます。(IPアドレス未設定時)
- (4) 通電状態でIPCK-70-01背面のRESETスイッチを、ペン先等で押します。
- (5) ディスプレイにメニューが表示されます。下記の【MENU操作の仕方】を参照し、初期設定をします。

【MENU操作の仕方】

- ・ディスプレイ上部のロータリースイッチを回すと、MENUの項目選択、または設定値を変更できます。
- ・ディスプレイ上部のロータリースイッチを押すと、MENU項目の下階層に移動、または設定値を決定します。
- ・ディスプレイを押すと、MENU項目の上階層に移動、または設定値をキャンセルします。

- (6) **MENU**→CONFIG→IP ADDRESSの階層で、IPCK-70-01に割り当てるIPアドレスを設定します。

※本書で**MENU**はリモコン背面のRESETスイッチを押した時に表示されるメニューツリーを意味します。

MENU→CONFIG→IP ADDRESSはメニューツリーが表示されている状態で、“CONFIG”の項目を選択し、“IP ADDRESS”の階層に遷移した状態を意味します。設定の詳細は「4.操作方法」を参照してください。

- (7) 同様に、CONFIGの階層にあるSUBNET、GATEWAYも設定します。詳細はネットワーク管理者にお問い合わせください。

- (8) 次に**MENU**→DEST SET→DEST1→DEST IPの階層※で、接続先のIPCK-70HのIPアドレスを設定します。PORT NOの項目は初期値で問題ありません。DEST2の設定はしません。

- (9) 上記のIPアドレスの設定を完了した後、LANケーブルを挿抜します。新しいIPアドレスが反映され、HOSTとの接続が確立すると、ディスプレイに接続先のIPアドレス（下9桁）が表示されます。

- (10) TAKEスイッチを押して、スーパのON/OFF制御ができることを確認します。

正常に動作しない場合は「4.1初期設定（ネットワーク）」、「6. トラブルシューティング」を参照してください。

3. 各部の名称と働き

1. 外観

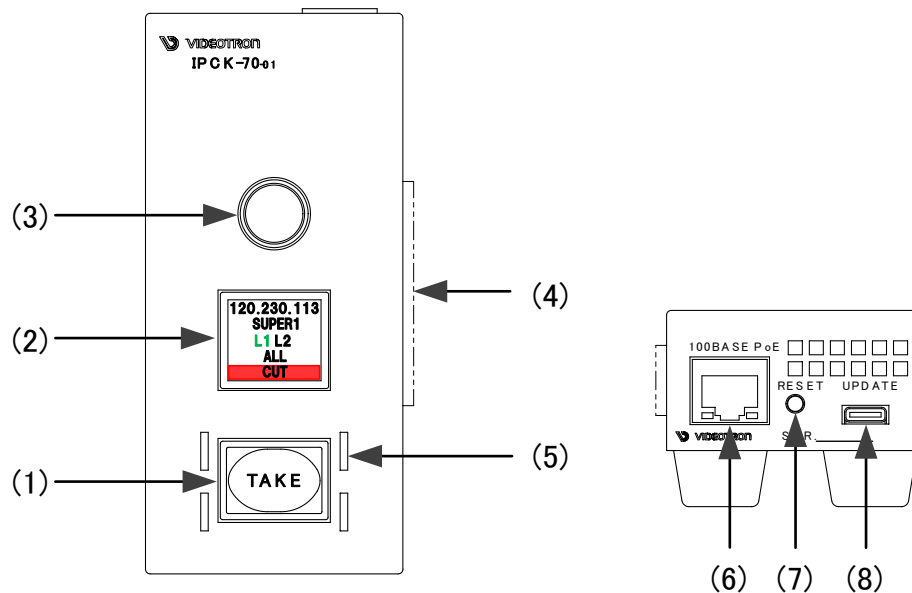


図3.1 各部の名称

(1)TAKEスイッチ

制御対象となるIPCK-70HのスーパーのON/OFFを制御します。スーパーをONすると、赤色に点灯します。

スーパーをOFFすると消灯します。

工場出荷時、接続対象となるIPCK-70HのSUPER1のTAKE制御を行う設定になっており、MENU操作でSUPER1～3、またはASSIGN TAKEの設定が可能です。

(2)ディスプレイ

運用中は、接続先のIPアドレス、スーパー名称、アサイン名称、トランジション、TAKE対象のLINE番号(L1、L2)が表示されます。ディスプレイを1秒間押すと、FADEタイムの変更ができます。

本体背面のRESETスイッチを押すとディスプレイ上にメニューツリーが表示され、接続先と本機のIPアドレスの設定等、初期設定を行うことができます。

設定した項目は全てリモコンのフラッシュメモリに保存されるため、一度設定を行うとPoE対応のネットワークスイッチに接続するだけで即座に使用することができます。

(3)ロータリースイッチ

運用時はフェードタイムを変更する時に使用します。ディスプレイを1秒間押すと、フェードタイム変更モードに入ります。この時、ロータリースイッチを左右に回してフェードタイムを変更します。

初期設定メニューでは、選択カーソル、決定ボタン(押し下げる)として使用します。

(4)リモコン連結マグネット

卓上に置いた複数のIPCK-70-01をマグネットで連結することができます。

(5) スプリングバック付きSWガード(CK-70W-07)取り付け穴

誤操作防止用のSWガードを付ける穴です。下図の①の方向に“取り付けフック”を差し込み、②の方向にスライドして固定します。TAKEスイッチを押す時は③の矢印の方向にアクリル板を持ち上げます。

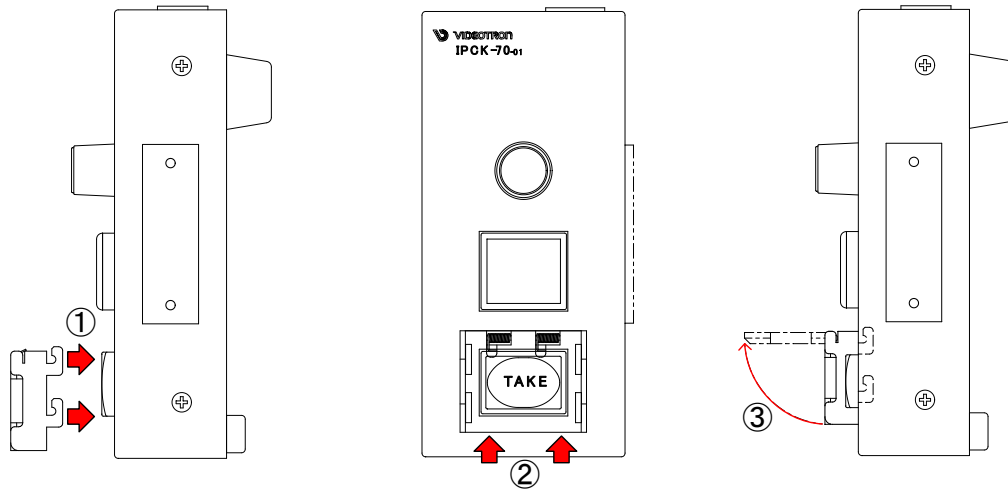


図3.1.1 CK-70W-07取り付け方法

(6)100BASE PoE端子

IEEE 802.3af規格のPoE給電機能に準拠した汎用のPoE対応のイーサネットスイッチを接続するRJ45端子です。本機の消費電力は5W未満ですので、PoE給電に対応したイーサネットスイッチであればどの規格でも使用できます。接続の際はカテゴリ5e以上のケーブルを使用してください。

PoEに対応していないイーサネットスイッチでは、電源が供給されないため、ご使用できません。

(7)RESETスイッチ

リモコン通電中に、RESETスイッチを押すと、ディスプレイ上に初期設定メニューが表示されます。

初期設定は、ご使用前に必ず設定する必要があります。一度初期設定を行えばリモコン内で設定値を保持するため、リモコンをPoE対応のイーサネットスイッチに接続すれば即座にご使用できます。

RESETスイッチは、ボールペン等、先の尖ったもので押してください。RESETスイッチを押しても設定項目がリセットされることはありません。工場出荷時設定に戻したい場合は、**MENU**→CONFIG→INIT SET→EXECを選択します。

(8)UPDATE端子

システムメンテナンス用です。使用しないでください。

4. 操作方法

本製品はIEEE802.3afに準拠したPoE給電スイッチングハブに接続してご使用いただく仕様となっております。

IPCK-70Hが正常に動作するネットワーク環境において、PoE対応のイーサネットスイッチを同一ネットワークに接続してください。

1. 初期設定(ネットワーク)

本機を使用する前に、接続先(IPCK-70H)と自分自身のIPアドレスを設定する必要があります。

以下の手順で初期設定を行ってください。

(1) IPCK-70-01をPoE給電スイッチングハブに接続します。

(2) IPCK-70-01が通電すると、ディスプレイに“COM ERR 1”と表示されます。

“COM ERR 1”の表示は、ネットワーク上に接続先が見つからないことを意味します。

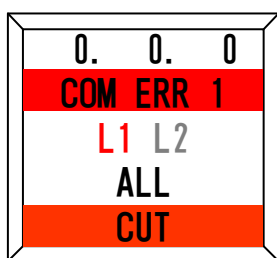


図4.1.1 起動画面

(3) 通電状態でIPCK-70-01背面のRESETスイッチを、ペン先等で押します。「図4.1.2 RESETスイッチの押し方」

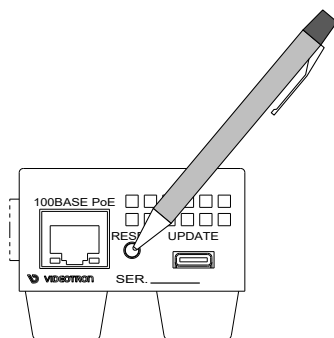


図4.1.2 RESETスイッチの押し方



図4.1.3 TOP MENU

(4) ディスプレイ上にトップメニューが表示されます。「図4.13 TOP MENU」参照。

(5) ロータリースイッチを回すとカーソルが上下に動きます。“CONFIG”を選択し、ロータリースイッチを押すと、“CONFIG”の階層下のメニューが表示されます。上の階層に戻る場合はディスプレイを押します。

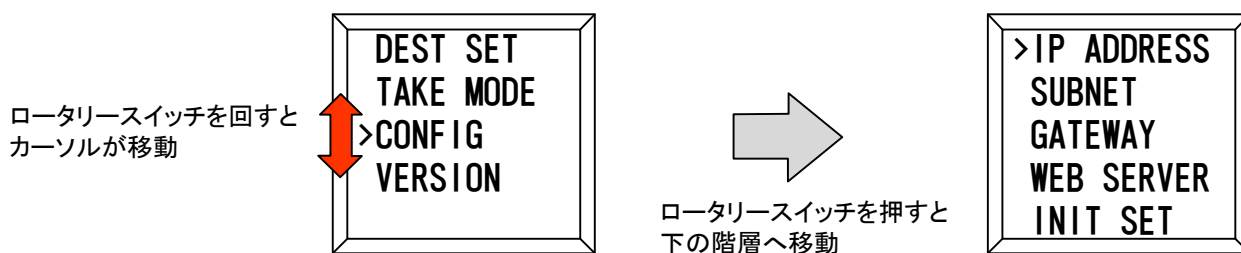


図4.1.4 MENUの基本操作

(6) 本機のIPアドレスを設定するには、“IP ADDRESS”の項目でロータリースイッチを押します。

本書では、以後、“IP ADDRESS”の階層下に入る時の操作を **MENU**→CONFIG→IP ADDRESSと表記します。

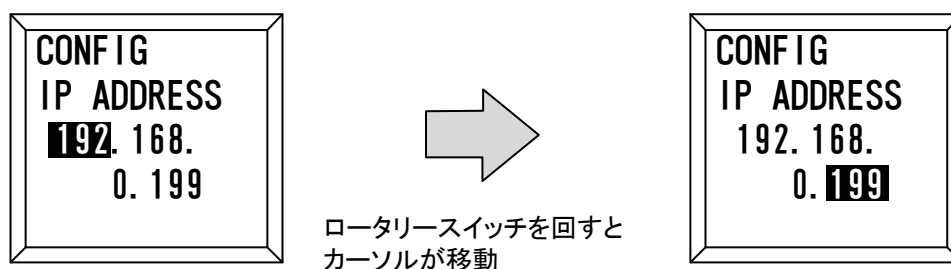


図4.1.5 IP ADDRESSの設定

(7) IP ADDRESSは工場出荷時、192.168.0.100に設定されています。設定変更する箇所(オクテット)をロータリースイッチで選択し、ロータリースイッチを押すと設定変更モードになります。任意の数値に変更した後、ロータリースイッチを押して決定します。同様の操作で、必要箇所を全て変更します。

(8) 同様の操作で“SUBNET”、“GATEWAY”の項目を設定したら、リモコンのIPアドレス設定は完了です。

※IPアドレスの設定を反映させるには、リモコンのLANケーブルを抜き差しする必要があります。

(9) 次に接続先(IPCK-70H)のIPアドレスを設定します。設定の仕方は2通りあります。1つはリモコンの操作で設定する方法、もう一つは同一ネットワーク上にあるPCから、本機のWeb Server機能を用いて設定する方法です。

Web Server機能を用いて設定する方法については「4.2 Web Serverの使い方」の項を参照してください。

引き続き、リモコンの操作で設定する方法について説明します。

(10) **MENU**→DEST SET→DEST IP1の階層で(6)の項目と同様な操作で接続先のIPアドレスを設定します。

(11) **MENU**→DEST SET→PORT NOの階層で、接続先のIPCK-70Hのポートナンバーが同じであることを確認します。※通常デフォルトの“9000”で使します。

(12) IPアドレスの設定を反映させるため、リモコンのLANケーブルを抜き差しします。

リモコン起動時、ディスプレイ上に“COM INIT”の表示がメッセージは表示されます。

接続先のIPCK-70Hが見つからないと、ディスプレイに“COM ERROR”のエラーメッセージが表示されます。

接続先のIPCK-70Hが見つかりとエラーメッセージは消え、下記の表示に切り替わります。

※エラーメッセージが表示される場合、ネットワークの設定を再確認してください。

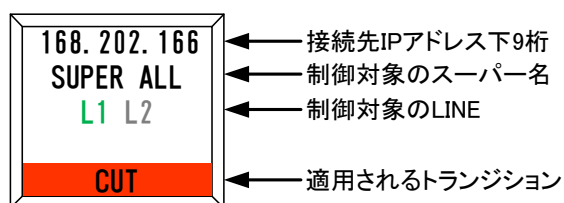


図4.1.6 1LINEモード時のディスプレイ

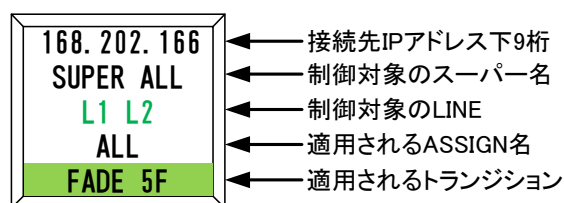


図4.1.7 2LINEモード時のディスプレイ

(13) IPCK-70Hが1LINEモードの時、「図4.1.6 1LINEモード時のディスプレイ」の画面が表示されます。最上部に接続先のIPアドレスの下9桁が表示されます。2段目に制御対象となるスーパー名が表示されます。3段目は制御対象となるLINE番号が緑色で表示されます。最下部にスーパーTAKE時のトランジションを表示します。

IPCK-70Hが2LINEモードの時、「図4.1.7 2LINEモード時のディスプレイ」の画面が表示されます。3段目と4段目の表記が1LINEモードと異なります。3段目のL1、L2の文字は適用するスーパーASSIGNに応じて緑色表示されます。

4段目は適用するASSIGN名が表示されます。

(14) TAKEスイッチを押して、TAKEスイッチが赤点灯すればネットワークの初期設定は完了です。

2. 初期設定(スーパー制御)

ネットワークの初期設定が完了し、リモコンの制御が確認出来たら、制御対象のスーパーチャンネル、およびASSIGN設定を行います。

(1)スーパーチャンネルとASSIGNの設定

IPCK-70HIは3チャンネルのスーパー入力に対応しており、リモコン側からどのチャンネルのスーパーの制御をするか選択できます。工場出荷時は“ALL”の設定になっており、制御対象のIPCK-70Hの全てのスーパー入力に対してTAKE制御をします。

MENU→TAKE MODEの階層に移動します。TAKE MODEの選択項目は以下の16種類あります。

- | | |
|-------------|----------------------------------|
| ・ALL | 全てのスーパーのTAKE制御を行います。 |
| ・S1 ALL | スーパー1のTAKE制御を行います。 |
| ・S2 ALL | スーパー2のTAKE制御を行います。 |
| ・S3 ALL | スーパー3のTAKE制御を行います。 |
| ・S1 ASSIGN1 | スーパー1にASSIGN1を適用したTAKE制御を行います。※1 |
| ・S1 ASSIGN2 | スーパー1にASSIGN2を適用したTAKE制御を行います。※1 |
| ・S1 ASSIGN3 | スーパー1にASSIGN3を適用したTAKE制御を行います。※1 |
| ・S1 ASSIGN4 | スーパー1にASSIGN4を適用したTAKE制御を行います。※1 |
| ・S2 ASSIGN1 | スーパー2にASSIGN1を適用したTAKE制御を行います。※2 |
| ・S2 ASSIGN2 | スーパー2にASSIGN2を適用したTAKE制御を行います。※2 |
| ・S2 ASSIGN3 | スーパー2にASSIGN3を適用したTAKE制御を行います。※2 |
| ・S2 ASSIGN4 | スーパー2にASSIGN4を適用したTAKE制御を行います。※2 |
| ・S3 ASSIGN1 | スーパー3にASSIGN1を適用したTAKE制御を行います。※3 |
| ・S3 ASSIGN2 | スーパー3にASSIGN2を適用したTAKE制御を行います。※3 |
| ・S3 ASSIGN3 | スーパー3にASSIGN3を適用したTAKE制御を行います。※3 |
| ・S3 ASSIGN4 | スーパー3にASSIGN4を適用したTAKE制御を行います。※3 |

※1 1LINEモードでは、ASSIGNは適用されず、S1 ALLと同じ動作をします。

※2 1LINEモードでは、ASSIGNは適用されず、S2 ALLと同じ動作をします。

※3 1LINEモードでは、ASSIGNは適用されず、S3 ALLと同じ動作をします。

3. Web Server の使い方

本機にはWeb Server機能を搭載しており、同一ネットワーク上のPCから設定の変更、保存、復元を行うことが可能です。

(1)Web ServerとPCの接続

リモコンのデフォルトのIPアドレスは下記のとおりです。

IP ADDRESS	: 192.168.0.199
SUBNET	: 255.255.255.0
GATEWAY	: 0.0.0.0

同一ネットワーク上にPCが接続されている場合、PCのブラウザで“192.168.0.199”と入力してください。

同一ネットワーク上にPCが接続されていない場合、**MENU**→CONFIG→IP ADDRESS/SUBNET/GATEWAYの項目でリモコンのIPアドレスを適切に設定してください。※詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。

リモコンのIPアドレスを設定したら、リモコンのLANケーブルを抜き差しします。PCのブラウザで新しく設定したIPアドレス“xxx.xxx.xxx.xxx”を入力してください。Web Serverが起動します。

(2) Web Serverの操作方法

Web Serverが起動すると、PCの画面上に、下記の表示がされます。



IPCK-70-01 Network Remote Controller

本機設定 (Consumer)

Take Mode *

ALL

表示名 *

SET NAME

IP address

192.168.0.199

Subnet mask

255.255.255.0

Gateway address

0.0.0.0

接続先設定 1 (Provider 1)

相手先IP address

0.0.0.0

Port number

9000

接続先設定 2 (Provider 2)

相手先IP address

0.0.0.0

port number

9000

本機から設定をロードしました

設定を取得

設定を本機へ保存

PCへ書き出し

PCから読み込み

Version: 01.00.00 R00

© 2025 VIDEOTRON Corporation. All rights reserved.



図4.3.1 Web Server画面

Web Serverを立ち上げると、現在の設定が表示されます。“本機設定”、“接続先設定”を適切に入力します。

設定を本機へ保存を押すと、リモコンに設定が保存され、LANケーブル抜き差し後に設定が反映されます。

設定を取得を押すと、リモコンに保存してある設定が読み出されます。

PCへ書き出しを押すと、現在の設定がPCのダウンロードフォルダに“IPCK-70_01_xxxxxxx”というファイルネームで保存されます。

PCから読み込みを押すと、ファイルの読み出し場所を指定するウィンドウが開きますので、ファイルを指定してください。設置値がPC上に読み出されます。設定内容を確認、あるいは修正して、**設定を本機へ保存**を押してください。

PCから読み込みを押しただけではリモコンに設定値が保存されません。

9

保存したファイルはJSON形式で保存されており、テキストエディタで開いて内容を確認、編集することが容易です。複数のリモコンを設定する場合、作成したJSONファイルを元に、複数のリモコンの設定ファイルを作成する方法が簡便です。

Web Serverの本機設定の表示名は、リモコン運用時のディスプレイ最上部に英数字11文字以内の固有名称を表示する機能です。空欄の場合、運用時は接続先のIPアドレスが表示されます。

リモコン単体操作では、MENU→NAMEの階層で名称を入力できます。

4. スーパー制御

リモコンの初期設定を完了すると、IPCK-70Hのスーパー制御が可能になります。

(1) スーパーTAKE

TAKEスイッチを押すと、接続先のIPCK-70HがTAKE MODEの内容に応じてスーパーTAKEコマンドが送信されます。IPCK-70HがスーパーTAKEコマンドを受信し、スーパーTAKEが実行されるとIPCK-70HからスーパーTAKEのタリー信号を受信し、リモコンのTAKEスイッチが赤点灯します。

(2) トランジションの切り替え

リモコンのディスプレイを押すと、“CUT”と“FADE”の表示がトグルし、リアルタイムにトランジションを切り替えることができます。

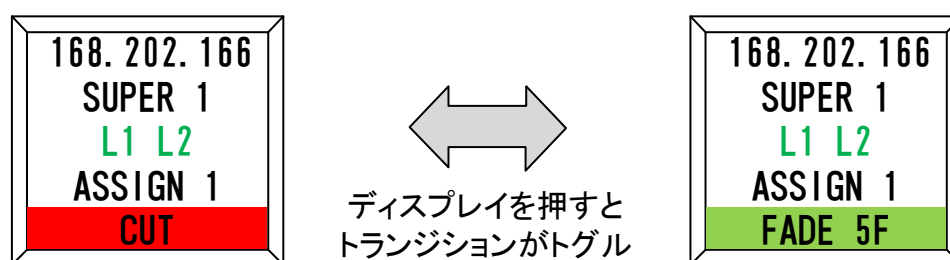


図4.4.1 トランジションの切り替え

(3) トランジションタイムの変更

リモコンのディスプレイを1秒間押すと“FADE TIME”の調整モードに入り、FADEタイムの表示部がブリンクします。ロータリースイッチを回し、トランジションタイムを任意の値に変更します。ロータリースイッチ、またはディスプレイを押すと、IPCK-70H本体へトランジションタイム変更のコマンドが発行されます。

5. エラー表示

本機は、ネットワーク通信に問題が発生した時、ディスプレイ上に以下のエラーメッセージが表示されます。

(1) COM ERR 1/2/12

リモコン起動後、IPCK-70Hと接続できない時、“COM ERR 1”と表示されます。

現用/予備構成で予備系のIPCK-70Hと接続できない時、“COM ERR 2”と表示されます。

現用/予備構成で双方のIPCK-70Hと接続できない時、“COM ERR12”と表示されます。

予備システムを構築しない場合は、**MENU**→DEST SET→DEST2→DEST IPの設定を全て“0. 0. 0. 0”にしてください。DEST2のIPアドレスを“0. 0. 0. 0”以外に設定すると、リモコンは予備系のIPCK-70Hを探し、見つからないと“COM ERR 2”と表示します。

(2) IP CONFLICT

リモコン起動時、ネットワーク上に本機と同一のIPアドレスが存在していた時(IPアドレスの重複)

“IP CONFLICT”と表示されます。

6. メニューツリー

RESETスイッチを押すとディスプレイ上に設定メニューが表示されます。

MENU	
DEST SET	接続先(IPCK-70H)のネットワーク設定を行います。IPCK-70Hの現用/予備構成にも対応します。 変更した内容は、LANケーブルの抜き差し後に反映します。
DEST1	接続先1(現用系のIPCK-70H)のIPアドレス、ポート番号を設定をします。
DEST IP	接続先1(現用系のIPCK-70H)のIPアドレスを設定します。
0. 0. 0. 0	IPアドレスをオクテット単位で設定します。
PORT NO	接続先1(現用系のIPCK-70H)のポート番号を設定します。接続先のポート番号に合わせてください。
9000	通常"9000"を使用します。
DEST2	接続先2(予備系のIPCK-70H)のIPアドレス、ポート番号を設定をします。
DEST IP	接続先2(予備系のIPCK-70H)のIPアドレスを設定します。予備系が無い時は、0.0.0.0にします。
0. 0. 0. 0	IPアドレスをオクテット単位で設定します。
PORT NO	接続先2(予備系のIPCK-70H)のポート番号を設定します。接続先のポート番号に合わせてください。
9000	通常"9000"を使用します。
TAKE MODE	TAKE対象のスーパーチャンネル、適用するASSIGNの組み合わせを設定します。
ALL	SUPER1、SUPER2、SUPER3を同時にTAKEします。ASSIGNは適用しません。
S1 ALL	SUPER1をTAKEします。ASSIGNは適用しません。
S2 ALL	SUPER2をTAKEします。ASSIGNは適用しません。
S3 ALL	SUPER3をTAKEします。ASSIGNは適用しません。
S1 ASSIGN1	ASSIGN1を適用し、SUPER1をTAKEします。
S1 ASSIGN2	ASSIGN2を適用し、SUPER1をTAKEします。
S1 ASSIGN3	ASSIGN3を適用し、SUPER1をTAKEします。
S1 ASSIGN4	ASSIGN4を適用し、SUPER1をTAKEします。
S2 ASSIGN1	ASSIGN1を適用し、SUPER2をTAKEします。
S2 ASSIGN2	ASSIGN2を適用し、SUPER2をTAKEします。
S2 ASSIGN3	ASSIGN3を適用し、SUPER2をTAKEします。
S2 ASSIGN4	ASSIGN4を適用し、SUPER2をTAKEします。
S3 ASSIGN1	ASSIGN1を適用し、SUPER3をTAKEします。
S3 ASSIGN2	ASSIGN2を適用し、SUPER3をTAKEします。
S3 ASSIGN3	ASSIGN3を適用し、SUPER3をTAKEします。
S3 ASSIGN4	ASSIGN4を適用し、SUPER3をTAKEします。
CONFIG	本機のネットワーク設定を行います。変更した内容は、LANケーブルの抜き差し後に反映します。
IP ADDRESS	本機のIPアドレスを設定をします。
192.168. 0.199	IPアドレスをオクテット単位で設定します。
SUBNET	本機のサブネットマスクを設定をします。
255.255.255. 0	サブネットマスクをオクテット単位で設定します。
GATEWAY	本機のゲートウェイを設定をします。
0. 0. 0. 0	ゲートウェイをオクテット単位で設定します。
WEB SERVER	本機のWeb Server機能の有効、無効を設定します。
ENABLE	Web Server機能を有効にします。
DISABLE	Web Server機能を無効にします。
INITIALIZE	本機の設定を初期化します。工場出荷時は初期化されています。
CANCEL	初期化をキャンセルします。
EXECUTE	初期化を実行します。
NAME	リモコンのディスプレイ上部に英数字11文字の固有名称を表示させることができます。 工場出荷時は空白。空白にした場合、リモコンのディスプレイ上部に接続先のIPアドレス下9桁を表示します。
VERSION	ファームウェアのバージョン情報を表示します。

表4.4.1 メニューツリー

※表中の は工場出荷時設定です。

5. 工場出荷時設定

下記の手順で工場出荷時設定に戻すことができます。

MENU→CONFIG→INITIALIZE→EXECUTE

INITIALIZEを実行しても、リモコンを再起動するまでネットワーク設定は維持されます。

工場出荷時設定の内容については「4.6メニューツリー」を参照してください。

6. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処法です。(文中の→は対処方法を示しています)

現 象 まったく動作しない！ディスプレイに何も表示され無い！

原 因

- ・PoE給電に対応したネットワークスイッチを使用していますか？
→本機はPoE給電専用です。PoE給電に対応したネットワークスイッチをご使用ください。
- ・LANケーブルはカテゴリ5e以上、ケーブル長100M以内のものを使用していますか？
→適切なケーブルに交換してください。それでも全く動作しない場合、リモコンが故障している可能性があります。当社までご連絡ください。

現 象 ディスプレイに“COM ERR 1/12”の表示がでる！

原 因

- ・制御対象のIPCK-70HIは正常に動作していますか？
→まず、IPCK-70Hが正常に動作している(映像が出ている)環境を構築してください。
- ・リモコンのネットワークの設定は正しく行いましたか？
→「4.1初期設定(ネットワーク)」の項を参照し、設定を再確認してください。
→設定後、リモコンは再起動しましたか？LANケーブルを抜き差しして再起動してください。
→接続先のネットワーク情報、リモコンのネットワーク情報について、ネットワーク管理者に問題ないかご確認ください。

現 象 ディスプレイに“COM ERR 2”の表示がでる！

原 因

- ・接続先のIPCK-70HIは冗長システムを組んでいますか？
→冗長システムを組んでいない場合、接続先のIPアドレス設定に問題があります。
MENU→DEST SET→DEST2→DEST IPの設定を全て“0. 0. 0. 0”にして再起動してください。
→「4.1初期設定(ネットワーク)」の項を参照し、設定を再確認してください。
→接続先のネットワーク情報、リモコンのネットワーク情報について、ネットワーク管理者に問題ないかご確認ください。

現 象 ディスプレイに“IP CONFLICT”の表示がでる！

原 因

- ・リモコンのIPアドレスが、ネットワーク上で既に使われていませんか？
→設定後、リモコンは再起動しましたか？LANケーブルを抜き差しして再起動してください。
→「4.1初期設定(ネットワーク)」の項を参照し、設定を再確認してください。
→接続先のネットワーク情報、リモコンのネットワーク情報について、ネットワーク管理者に問題ないかご確認ください。

現 象 スーパーTAKEしてもIPCK-70HIにスーパーがTAKEされない！

原 因

- ・IPCK-70HをWeb ServerでスーパーTAKEできますか？
→Web ServerでスーパーTAKE できない場合、IPCK-70Hの動作環境を整えてください。
→リモコンのTAKE MODEの設定をALLIにして試してください。
→ASSIGNの設定をご確認ください。

ご不明な点は、当社までご連絡ください。

7. 仕様

1. 構成

IPCK-70H (別売)	IPカラースーパー装置
IPCK-70-01	PoE接続のネットワークリモコンです。TAKE制御、CUT/FADE切り替え、FADEタイムの変更ができます。
IPCK-70-02 (別売)	アウトバウンド制御を可能にする工場出荷時オプションです。制御用にRJ45のコネクターが2個増設されます。
CK-70W-07 (オプション)	スプリングバック付きSWガード PRC-01の TAKE スイッチに装着する、誤操作防用のスイッチガードです。

2. 機能

TAKEスイッチ	制御の対象となる IPCK-70H のスーパーチャンネル、ASSGIN を指定して、スーパー TAKE の操作を行います。スーパーTAKE 中は、スイッチが赤色に点灯します。
CUT/FADE切り替え	ディスプレイを押すと、トランジション(CUT/FADE)の切り替えができます。
ディスプレイ	運用中は、接続先の IP アドレス、スーパー名称、アサイン名称、トランジション、TAKE 対象の LINE 番号(L1、L2)が表示されます。 ディスプレイを 1 秒間押すと FADE タイムの変更ができます。 本体背面の RESET スイッチを押すとディスプレイ上にメニューツリーが表示され、接続先と本機の IP アドレスの設定等、初期設定を行うことができます。 設定した項目は全てリモコンのフラッシュメモリに保存されるため、一度設定を行うと PoE 対応のネットワークスイッチに接続するだけで即座に使用することができます。
RESETスイッチ	本機の初期設定を行う時に使用します。RESET スイッチを押すとディスプレイにメニューツリーが表示されます。
Web Server	本機の初期設定を Web Server 上で行うことができます。リモコン単体で初期設定を行うより簡便です。また、全ての設定項目の保存/復元も可能です。
PoE対応100BASEイーサ	IEEE 802.3af 規格の PoE 給電機能に準拠した汎用の PoE 対応のイーサネットスイッチを使用できます。

3. 定格

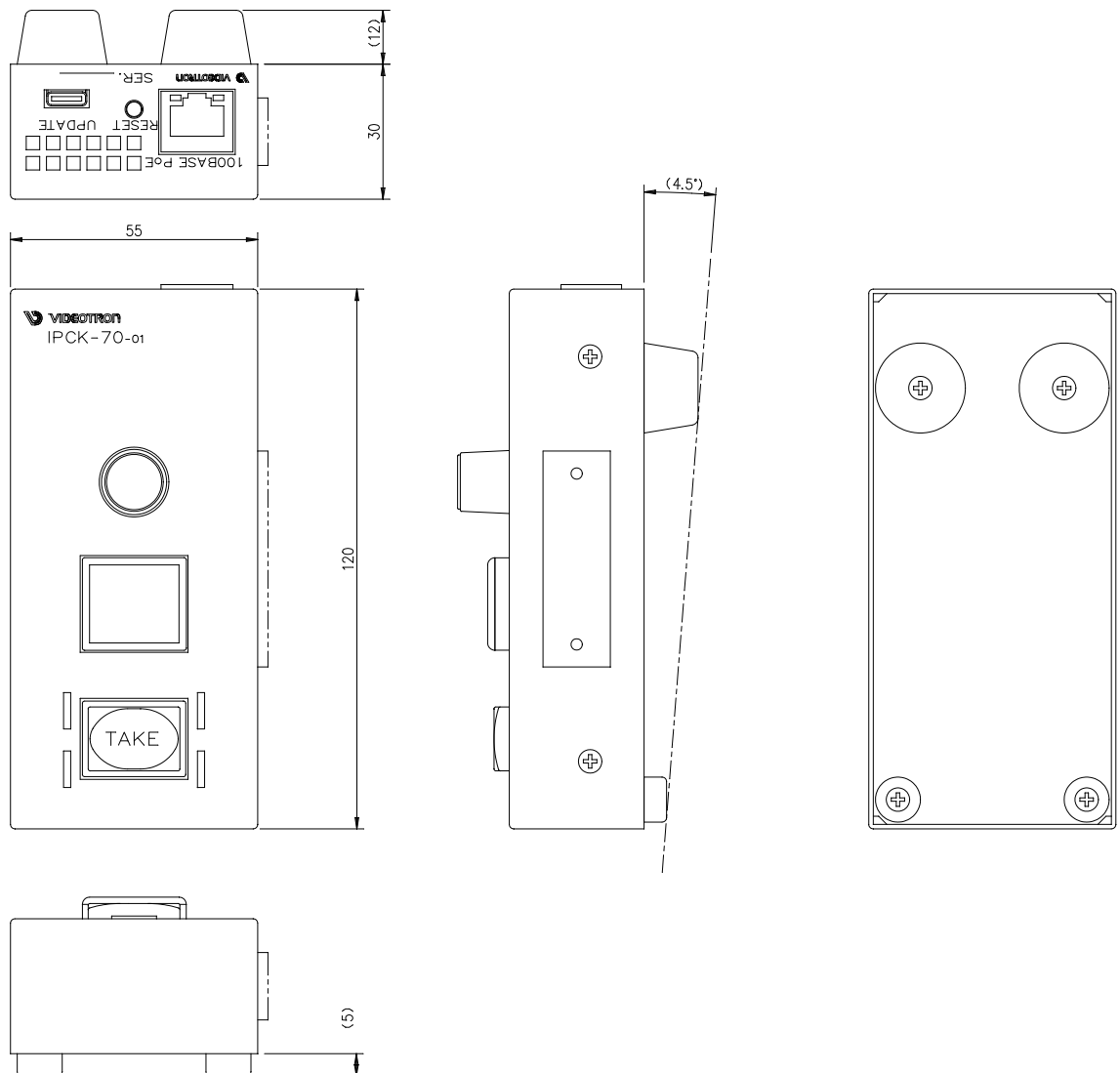
外部 I/F		
・ 100BASE PoE	PoE (IEEE802.3af) 対応、10/100BASE-T、RJ451	1 系統
・ UPDATE	メンテナンス用 UPDATE 端子	1 系統
動作温度 / 動作湿度	0～40℃ / 20～80%RH (ただし結露なき事)	
消費電力	5W 未満 (48V,0.1A 未満)	
質量	0.23kg	

4. 性能

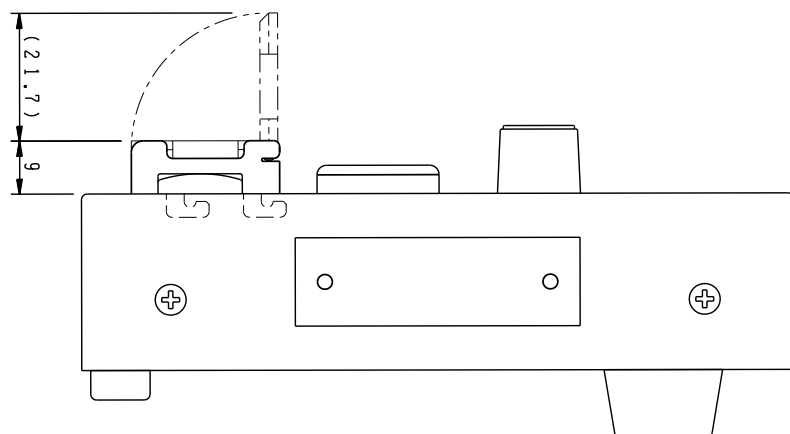
外部I/F	
・ 100BASE PoE	カテゴリ5e 以上のケーブルを使用し、100M まで延長可
※注.外観及び仕様は変更することがあります。	

8. 外観図

【本体】



【CK-70W-07 実装時】



無断転写禁止



- ・本書の著作権はビデオトロン株式会社に帰属します。
- ・本書に含まれる文書および図版の流用を禁止します。

お問い合わせ

製品に関するお問い合わせは、下記サポートダイヤルにて承ります。

本社営業部/サポートセンター TEL **042-666-6311**

大阪営業所 TEL **06-6195-8741**

ビデオトロン株式会社 E-Mail: sales@videotron.co.jp

本 社 〒193-0835 東京都八王子市千人町 2-17-16

大阪営業所 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-8-8 花原第8ビル 5F

ビデオトロンWEBサイト

<https://www.videotron.co.jp>

102205R00

本書の内容については、予告なしに変更する事がありますので予めご了承下さい。